

港湾改修事業の再評価項目調書

事業名	三田尻中関港 築地地区 防波堤整備		事業主体	中国地方整備局												
所在地	山口県防府市															
事業概要	<p>三田尻中関港築地地区防波堤の目的は、港内の静穏度を確保し、荷役作業の効率性を高めると共に航行船舶の安全性を確保するものである。特に、台風来襲時は高潮・波浪による護岸の崩壊及び越波による浸水被害を幾度となく受けており、復旧期間は、港が使用できない状況である。従って本港は、港内外を航行する船舶の安全性を向上すると同時に岸壁背後地の浸水被害を回避することで、荷役及び保管に支障がないようにしなければならない。</p> <p>以上のため、安全かつ効率的な荷役による物流の効率化や港湾施設被災による港湾施設機能の停止などの問題に対応するために防波堤整備事業として防波堤（東）470m及び防波堤（西）300mを整備するものである。</p>															
事業採択年度	平成3年度															
総事業費	約93億円	既投資額	約40億円 (進捗率43%)													
再評価の必要性に関する視点	<p>① 事業の必要性に関する視点</p> <p>ア) 事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 背後に存在する自動車工場の好調な生産とこれに伴う関連貨物の取り扱い。 ・ 完成自動車の船舶輸送による直接移入への転換。 ・ 近年の企業活動の回復に伴う取扱貨物量減少の底打ち。 <p>イ) 費用便益分析（平成17年度価値換算による） (残事業) 事業全体</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">本事業に要する費用（総費用）</th> <th style="width:50%;">本事業による効果（総便益）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>■ 建設費</p> <p>総事業費※1 (52.6)92.9億円</p> <p style="padding-left: 20px;">※2 (50.1)88.1億円</p> <p>現在価値事業費 (39.2)89.5億円①</p> <p style="padding-left: 20px;">※3</p> <p>総費用（C）</p> <p>① = (39.2)89.5億円</p> <p>※1：既に登録されている当事業に必要な費用（消費税含む。）</p> <p>※2：既に登録されている当事業に必要な費用（消費税除く。）</p> <p>※3：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの。</p> </td> <td> <p>■ 滞船削減便益 (1.8)10.8億円②</p> <p>■ 荷役作業時間短縮の便益 (1.3)1.3億円③</p> <p>■ 港湾施設災害削減便益 (7.4)7.4億円④</p> <p>■ 施設災害による貨物シフト縮減便益 (44.7)44.8億円⑤</p> <p>■ 海難減少に伴う便益 (42.5)42.5億円⑥</p> <p>■ 残存価値 (0.8)0.8億円⑦</p> <p>総便益（B）</p> <p>②+③+④+⑤+⑥+⑦ = (98.5)107.6億円</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align:center;">評価対象期間内 = 整備期間+50年</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析の結果</td> </tr> <tr> <td style="width:50%;"></td> <td> <p>前回評価時 B/C = () 1.1</p> <p>今回評価時 B/C = (2.5) 1.2</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align:center;">「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル（平成16年6月）による」</td> </tr> </tbody> </table>				本事業に要する費用（総費用）	本事業による効果（総便益）	<p>■ 建設費</p> <p>総事業費※1 (52.6)92.9億円</p> <p style="padding-left: 20px;">※2 (50.1)88.1億円</p> <p>現在価値事業費 (39.2)89.5億円①</p> <p style="padding-left: 20px;">※3</p> <p>総費用（C）</p> <p>① = (39.2)89.5億円</p> <p>※1：既に登録されている当事業に必要な費用（消費税含む。）</p> <p>※2：既に登録されている当事業に必要な費用（消費税除く。）</p> <p>※3：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの。</p>	<p>■ 滞船削減便益 (1.8)10.8億円②</p> <p>■ 荷役作業時間短縮の便益 (1.3)1.3億円③</p> <p>■ 港湾施設災害削減便益 (7.4)7.4億円④</p> <p>■ 施設災害による貨物シフト縮減便益 (44.7)44.8億円⑤</p> <p>■ 海難減少に伴う便益 (42.5)42.5億円⑥</p> <p>■ 残存価値 (0.8)0.8億円⑦</p> <p>総便益（B）</p> <p>②+③+④+⑤+⑥+⑦ = (98.5)107.6億円</p>	評価対象期間内 = 整備期間+50年		費用対効果分析の結果			<p>前回評価時 B/C = () 1.1</p> <p>今回評価時 B/C = (2.5) 1.2</p>	「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル（平成16年6月）による」	
	本事業に要する費用（総費用）	本事業による効果（総便益）														
	<p>■ 建設費</p> <p>総事業費※1 (52.6)92.9億円</p> <p style="padding-left: 20px;">※2 (50.1)88.1億円</p> <p>現在価値事業費 (39.2)89.5億円①</p> <p style="padding-left: 20px;">※3</p> <p>総費用（C）</p> <p>① = (39.2)89.5億円</p> <p>※1：既に登録されている当事業に必要な費用（消費税含む。）</p> <p>※2：既に登録されている当事業に必要な費用（消費税除く。）</p> <p>※3：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの。</p>	<p>■ 滞船削減便益 (1.8)10.8億円②</p> <p>■ 荷役作業時間短縮の便益 (1.3)1.3億円③</p> <p>■ 港湾施設災害削減便益 (7.4)7.4億円④</p> <p>■ 施設災害による貨物シフト縮減便益 (44.7)44.8億円⑤</p> <p>■ 海難減少に伴う便益 (42.5)42.5億円⑥</p> <p>■ 残存価値 (0.8)0.8億円⑦</p> <p>総便益（B）</p> <p>②+③+④+⑤+⑥+⑦ = (98.5)107.6億円</p>														
	評価対象期間内 = 整備期間+50年															
	費用対効果分析の結果															
	<p>前回評価時 B/C = () 1.1</p> <p>今回評価時 B/C = (2.5) 1.2</p>															
「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル（平成16年6月）による」																

事業名	<small>み た じり なかの せきこう ついじちく</small> 三田尻中関港 築地地区 <small>ぼうはていせいび</small> 防波堤整備	事業主体	中国地方整備局												
再評価の必要性に関する視点	<p>ウ) 貨幣換算しなかったが定性的に評価できる事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波による背後地の浸水被害軽減。 ・港内漁港区域の静穏度向上による船舶の延命及び陸揚げ作業の効率化。 ・物流の効率化に伴う地元企業の競争力強化と雇用創出。 <p>エ) 事業の進捗状況</p> <p>1. 主な経緯</p> <table border="0"> <tr> <td>平成 4年 4月</td> <td>築地地区防波堤（東）着工</td> </tr> <tr> <td>平成10年 4月</td> <td>築地地区防波堤（西）着工</td> </tr> <tr> <td>平成12年 7月</td> <td>事業再評価実施</td> </tr> <tr> <td>平成17年 12月</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>平成20年代前半</td> <td>築地地区防波堤（西）完成予定</td> </tr> <tr> <td>平成20年代後半</td> <td>築地地区防波堤（東）完成予定</td> </tr> </table> <p>2. 事業の進捗状況</p> <p>○工事の進捗状況</p> <p>現在、防波堤工事の進捗状況は43%である。</p>			平成 4年 4月	築地地区防波堤（東）着工	平成10年 4月	築地地区防波堤（西）着工	平成12年 7月	事業再評価実施	平成17年 12月	同上	平成20年代前半	築地地区防波堤（西）完成予定	平成20年代後半	築地地区防波堤（東）完成予定
平成 4年 4月	築地地区防波堤（東）着工														
平成10年 4月	築地地区防波堤（西）着工														
平成12年 7月	事業再評価実施														
平成17年 12月	同上														
平成20年代前半	築地地区防波堤（西）完成予定														
平成20年代後半	築地地区防波堤（東）完成予定														
② 事業進捗の見込み	防波堤整備の進捗率は、43%である。今後は予算の重点投資をするなど、早期供用を図って行く予定。														
③ コスト削減や代替案の可能性	・ケーソン製作を先行し複数年行い、一括して据付けることにより、コスト削減を図っている。														
今後の対応方針	<p>事業継続</p> <p>本事業は十分な投資効果及び進捗の目途が確認されるため、本事業を継続することとしたい。</p>														